

# HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 1

## 東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日  
例会日 毎週月曜日 12:30~  
例会場所 シェラトン都ホテル大阪  
事務所 大阪市天王寺区石ヶ辻町5-5  
〒543-0031 丸善88シティハイツ3003号  
TEL. 06(6772)2320  
FAX. 06(6772)2327  
E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会長 原 口 隆 夫  
会長ノミニー 佐 藤 三千秋  
副会長 百 濟 洋 一  
幹 事 榎 啓 一  
会報委員長 和田栗 一 良

## ROTARY SHERES

ロータリーは分かちあいの心

2007~2008年度 国際ロータリー会長 ウィルフレッドJ. ウィルキンソン

第1649回例会 平成19年7月2日(月曜日) 第1号

### 本日の例会

7月2日(月)第1例会

◎ソング 「君が代 限りなき道ロータリー」

◎会長挨拶並びに新年度方針説明

会長 原 口 隆 夫  
会長ノミニー 佐 藤 三千秋  
副会長 百 濟 洋 一  
幹 事 榎 啓 一

◎本日の献立 寿司盛り合せ

### 来週の例会

7月9日(月)第2例会

(移動例会)

◎直前会長幹事慰労会

於・太閤園

17:30~集合写真撮影(時間厳守)

18:00~例会・慰労会 淀川邸

### 先週の例会記録

6月25日(月)第4例会

◎ビジター 大阪東RC 西村貞一氏 他1名

### 年度末挨拶

会長 宮崎康治

本日は年度末の例会であります。最終のご報告を申し上げます。この度の渡辺IM第4組ガバナー補佐エレクトご就任に伴い、次年度IM実行委員

長に近藤会員をお願い致しましたところ、快くお引き受け戴きました。御礼申し上げる次第でございます。

この日を迎えられることは私自身にとりまして、この上もない幸せでございます。この1年間何とか会長の役目を務めさせていただきましたのも、理事・役員初め会員皆様の暖かいご友情、ご協力の賜物であります。誠に有難う御座いました。

今年度RI会長ウィリアム・B・ボイド氏のテーマは「LEAD THE WAY 率先しよう」であり、この言葉を実践するに当り2660地区ガバナー方針として「ニーズを見極め、誠実な協力、ひたむきな努力」を行動するための指針とするということでありました。その方針のもと、当クラブの主目標と致しましては①ロータリーをエンジョイする手段としての親睦活動の活性化 ②会員増強と退会防止 ③出席率の向上 ④事業活動の継続踏襲の4項目を掲げました。そしてまた今年度は創立35周年ということでありました。理事会での検討の結果、特別な周年事業は控えつつ40周年に繋がる行事として、鹿港RCとの姉妹クラブ交流と地域への貢献としての記念植樹の二つを企画致しました。

親睦活動の活性化につきましては、親睦活動委員会において、年4回のゴルフ同好会、秋の「吉兆」、春の「奄美大島」での家族会、35周年姉妹



クラブ交流を兼ねたクリスマス会、新年会等恒例の行事を実施して頂きました。細川委員長、岩崎、中川両副委員長をはじめ会員皆様のご尽力、ご努力のもと、各々の催しに多くの参加者を得て、親睦活動は大いに活性化出来ましたことは、皆様ご承知の通りであります。本当にご苦勞をお掛けいたしました。次に会員増強と退会防止につきましては、時節柄とはいえ3名の退会者がありましたことは私の努力不足でありお詫び致すところであります。続いて出席率向上につきましては、親睦をベースにした雰囲気づくりは葛井委員長が良くこの課題に取り組んでいただき、当初の目標を達成出来たものと思っております。

事業活動の継続踏襲について言及します。ロータリー情報委員会は百濟委員長のもと4回にわたって開催され、クラブ運営についての問題を中心に活発な意見の交換を行い、今後に向けての魅力的なクラブ作りへの道筋が示されたと思っております。職業奉仕委員会では浅野委員長が職業奉仕月間に因んでの卓話をされ、さらに地区からの要請「出前授業の推進」への協力等意識向上に努められました。社会奉仕委員会では中村委員長のもと、恒例の献血運動を実施、121名の受付者数がありました。そして35周年記念事業として東大阪吉原公園に植樹を行いました。能登半島地震災害に対して会員の皆様よりの義援金を送りました。国際奉仕部門にあつては、鈴木GSE委員長のもと、トルコ・アンカラチームの職業研修を受入れ、ホームステイの提供をしていただきました。世界社会奉仕(WCS)計画については、国際飢餓対策機構のフィリピン養鶏事業に対し支援を行いました。また国際交流としては、鹿港RCを年末のクリスマス家族会にご招待し友情を深めた。連絡及び受入にあたって、森姉妹クラブ委員長を含めた関連委員長8名によるプロジェクトチームを編成して対処致しました。ロータリー財団委員会では佐藤委員長のご尽力により、財団に対する寄付の目標を達成して頂きました。米山奨学委員会に於いても岩崎委員長のご尽力により、寄付金の目標を達成して頂きました。プログラム委員会では、藤原委員長の考案による手帳用の今年度プログラム表を作成、各自重宝されたことと思えます。会報委員会では、中川委員長が専門の立場か

ら、会報に白紙の紙面のないよう、キメの細かい配慮をして頂きました。雑誌広報委員会では、出原委員長が「ロータリーの友」を少しでも読まれるようにと毎月記事の紹介をして頂きました。説明を聞き改めて読直すこともあったのではないのでしょうか。SAAの松岡会員は会場監督として、榎谷副SAAとのコンビでその務めを十分に果たして頂きました。以上のようにクラブ奉仕委員会の各分野において、事業活動の継続踏襲という趣旨から立派な業績を残して頂きました。各委員長の皆様には厚く御礼申し上げます。最後になりましたが、クラブ運営に終始ご尽力、ご協力頂きました福岡幹事、切石副会長、理事役員の皆様方、事務局の青木様には心からなる感謝を申し上げる次第であります。原口次年度会長宜しくお願いいたします。

出席報告 中川副委員長

本日の会員数	44名
本日の出席者数	23名
本日の出席規定適用免除会員	13名
本日の出席率	74.19%
6月 <del>4</del> 日の修正出席率	93.55%

SAAニコニコ箱報告 榎谷副SAA

- 宮崎会長 この一年間、お世話になり有難うございました。
- 木村会員 先日は盛大なお祝の席を設けて下さり大変感謝しております。これからも宜敷くお願いします。
- 森会員 同好会のドタキャンや卓話の交替等御迷惑をおかけしました。
- 福岡会員 幹事報告、今期最終となりました。御協力ありがとうございました。
- 岩崎会員 例会欠席のお詫び。
- 細川会員 ゴルフで優勝しました。又親睦活動に御協力有難うございました。
- 榎谷会員 SAA、今年一年どうもありがとうございました。
- 松岡会員 休会して申し訳ありません。痛みが大分とれました。この一年ありがとうございました。
- 中川会員 阿波の国は、良いところでした。



加してもらう。プログラムを見てますと年間を通じて結構ロータリーの行事があります。例えば9月は6日に東輪会合同例会があります。これに参加することによって当クラブ以外の方々と知り合いになれる。友好の輪が広がります。13日には第一回のゴルフ同好会があります。20日は情報集会があります。これは普段の例会とは違い、ロータリーに関して会員の熱い意見が飛び交い、本音で語り合う集会であります。要は参加することによって会員同志のコミュニケーションが計られ親睦が生まれます。会員同士の親睦こそ退会防止にもつながります。参加しなければ何も生まれません。どうかロータリー行事に積極的に参加をしていただきロータリーの楽しみを味わっていただきたいと思います。

#### 4. 社会奉仕活動

当クラブ独自の社会奉仕は献血活動を行っております。これは12年間継続しており、立派な成果を上げております。これはもちろん継続して活動していきますが、もう一つ何か地域に貢献できる継続性のある社会奉仕活動を行いたいと思います。お金を出すだけの奉仕ではなく我々の体も使った社会奉仕活動を行いたいと思います。

#### 5. IMの開催

9年振りにIM開催のホストクラブになりましたが近藤IM実行委員長の下に、全員参加でIMを成功させる。現在IM実行委員会では来年2月の開催に向けて順次打ち合わせ会を行っておりますが、いうまでもなくIMというビックイベントを成功させるにはクラブを挙げて、会員皆様のご協力がなければ達成できませんので全員参加でお願い致します。

#### 6. クラブ・リーダー・シッププラン(CLP)について

CLP検討委員会を設けて十二分に討議する。地区からCLPの導入を推奨されていますがCLPの目的は「効果的に各クラブの管理の枠組みを提供することにより、ロータリークラブの強化を図ること」となっています。CLPを検討することにおいて、当クラブの細則を見直したり、クラブ運営で再検討のよい機会になるかもわかりません。ただCLP自体どういうモノ

かハッキリわかっておりませんのでこれから検討委員会で十分議論していきたいと思っております。

会長ノミニー 佐藤三千秋

本年度 会長ノミニーをおおせつかりました佐藤です。原口会長のもとでこの一年ロータリー並びに会長職について精一杯勉強したいと思っています。

来年2月16日当クラブがホストをします。IM開催の企画運営を浅野会員とともに担当します。また、来月の台湾鹿港ロータリークラブ25周年祝賀会訪問団のお世話とこの一年忙しくなりそうですが、健康に気をつけて務めたいと思いますので、会員皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い致します。

クラブ奉仕委員会委員長 百済洋一

今年度クラブ奉仕委員長並びに副会長を担当する事になりました百済でございます。

クラブ奉仕は、ロータリー活動の基盤になる役割を持つものだと思います。原口会長方針である社会奉仕活動の活発化・行事への積極的な参加等を各委員会で実践されるように各委員長とコミュニケーションを図り活動目標に努力して行きたいと思っています。

会員皆様方のご協力の程、よろしくお願い致します。

幹事 榎 啓一

今期、幹事をさせていただきます、榎です。

私は、東大阪中央ロータリークラブに平成8年近藤会長の時に入会しました。もうすぐまる11年の在籍となります。ロースターの順番もいつの間にかじわじわと前に進みましたが、ロータリーの知識と経験は、いっこうに前に進んでおりません。

入会時、ロータリーの先輩と同じ仕事の三宅先生がおられ、何かとお聞きしてたのですが、三宅先生は「どってことないで、ロータリーは難しくなくて簡単や。」とよく言われていて、素直な私はその言葉を全面的に信用してこの10年ほどを過ごしてきました。

人生どこに落とし穴があるのか分からないもので、急に原口会長からの幹事役の指名をいただいた時は、まだのんびりしてまして事の重大さに気がついておりませんでした。

去年の秋ごろから身辺が急にあわただしくなりました。当初、就任の時の7月から多忙になるとの読みは見事に外れ、幹事役のためにと備蓄しておいたエネルギーの大半を既に使ってしまいました。気分は第4コーナーを回っておりますが幹事



役はまだ後11ヶ月と29日もあります。ゴールまでたどり着くのか心配しております。

幹事の手引書である「クラブ幹事要覧」を数ページ読むとせねばならない事の多さと困難さに恐怖感を持つほどでしたので、まだ全部を読んでおりません。私に勤まるのか不安で一杯ですが、私を選んでいただいた原口会長にこの責任の半分以上はあると、勝手に開き直って1年間、幹事を担当させていただきます。

今年度国際ロータリー会長のウィルキンソンさんのテーマは「ロータリーは分かちあいの心」です。この言葉を実践するため、会員の皆様に本来幹事がすべき仕事も分かちあって頂いて、何とかこの1年を乗り切っていきたいと考えております。どうかご暖かいご協力をお願いいたします。

### 第1回 理事役員会議事録

日時 平成19年7月2日(月) 例会終了後  
場所 シェラトン都ホテル5階 カトレアの間  
出席理事

原口隆夫 佐藤三千秋 百済洋一 榎 啓一  
藤原英夫 福岡康民 細川勝治 浅野光男  
岩崎史郎 以上9名(敬称略)

#### 議案

1. 年間行事予定の報告の件  
榎幹事より主な行事の報告をした。 承認
2. 期首会員数の件  
小松会員の転動に伴う退会の報告と共にその結果として期首会員数が43名となる旨を報告  
承認
3. 夏季における服装の件  
7～9月においては、ノーネクタイ、上着着用なしでも認めることとする。ただし、バッチは携帯すること。また、卓話者については除くこととする。 承認
4. 台湾鹿港RC訪問の件  
8月5日から7日の予定で訪問する。お土産は筆記具とする。 承認
5. 上期会費金額報告の件  
上期会費の内訳と総額の報告をした。 承認
6. ニコニコキャンプ登録の件  
青少年活動委員長1名登録を行い登録料を支払う。 承認
7. 東輪会合同例会懇親会の件  
当クラブからの出演内容について討議

継続審議

### 8. 献血活動における表彰の件

長期にわたる献血者に対する表彰の検討

継続審議

ガバナーの横顔 (ロータリーの友7月号より)

“縁”を大切に

第2660地区 新谷秀一ガバナー

(池田くれはRC)

柔和で、いつもニコニコ笑顔を絶やさず、誰にでも細かい気配りを忘れない、穏やかな人柄の新谷秀一さんが、内に秘める情熱は決して人後に落ちません。

(学)二本松学院理事長として、京都建築大学校、京都伝統工芸大学校の運営に携わっているほか、(財)京都伝統工芸産業支援センター理事長を兼ねるなど、京都が世界に誇る、伝統工芸の技術保持と育成向上を畢生の仕事として今、熱心に取り組んでいます。

2004年10月、近畿北部丹後地方を襲った台風23号で、日本三景の一つ、天橋立の松並木が大きな被害を受けました。そのとき倒れた松の古木を、新谷さんの下で伝統工芸を学ぶ学生さんたちがもう一度生かそうと、約1年の歳月をかけ、精魂込めて高さ2.5mの獅子の背に騎る文殊菩薩像を彫り上げ、地元切戸の文殊・智恩寺に納めました。再び生き返った松の命に人々は元気を取り戻しましたが、それは新谷さんにとっても、奉仕の理想の実践でした。

新谷さんは、常々「ロータリーは、縁につながっている」と語っています。“縁”は、一人ひとりの心の“絆”で結ばれています。人と人との出会いを喜びとするのが新谷さんの生きざまであり、それが、日常のロータリー活動にも反映されています。新谷ガバナーには、第2660地区のロータリアンの皆さんとの“縁”を大切に、温かい“絆”で結ばれながら地区活性の先駆けとなってもらいたい、と念じています。

池田くれはRC 中川三郎

職業分類一大学校 1940年1月14日生。(学)二本松学院・(財)京都伝統工芸産業支援センター理事長、84年池田くれはRC創立会員。MPHF。ベネファクター。PHS。米山功労者。